

安全データシート

作成: 2018年10月25日
改訂: 2025年 4月30日

1. 製品及び会社情報

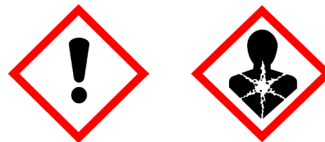
整理番号 : KM083-03
製品名 : ビームエイトEXゾル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途 : 農薬
使用上の制限 : 農薬取締法に従い使用する。推奨用途以外の使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) : 区分4
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(中枢神経系、血液系)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(中枢神経系、呼吸器)
環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
: 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

【健康有害性】
H302 飲み込むと有害
H370 臓器(中枢神経系、血液系)の障害
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、呼吸器)の障害
H402 水生生物に有害
H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取り扱い後はよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

【応急処置】

P301+P312、P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】 P501 内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。
または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託
して適切に処理する。

他の危険有害性

・製造時に粉じん爆発性の高い成分及び原材料を使用する際は、粉じん爆発に注意し、適切な処置を施すこと。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

[メチル(オキシ)[1-[6-(トリフルオロメチル)-3-ピリジル]エチル]-λ⁶-スルファニリデン]シアナミド
／ 一般名：スルホキサフロル
5-メチル-1, 2, 4, -トリアゾロ[3, 4-b]ベンゾチアゾール／一般名：トリシクラゾール

成分情報		含有量
成分	スルホキサフロル	10.0%
	トリシクラゾール	8.0%
その他成分	水、界面活性剤	82.0%
<合計>		100.0%

危険有害成分： プロパン-1, 2-ジオール 12.0%
(別名：プロピレングリコール)

化学式： C₁₀H₁₀F₃N₃OS／スルホキサフロル
C₉H₇N₃S／トリシクラゾール

官報公示整理番号：化審法	2-234	プロパン-1, 2-ジオール (別名：プロピレングリコール)
	安衛法	8-(1)-4200 スルホキサフロル 8-(3)-520 トリシクラゾール

CAS RN [®]	946578-00-3	／ スルホキサフロル
	41814-78-2	／ トリシクラゾール
	57-55-6	／ プロパン-1, 2-ジオール (別名：プロピレングリコール)

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、衣服をゆるめて呼吸しやすい姿勢で休息させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は、直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

眼に入った場合：眼を擦ってはならない。直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。コンタクトを着用して、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所へ移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。嘔吐が起こった場合、胃からの嘔吐物が肺に入らないように頭部を下げる。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：救助の際は保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。医師が治療方針を決定する際の問い合わせ先：(財団法人)日本中毒情報センター(「16. その他の情報」を参照)

5. 火災時の措置

消火方法：初期の消火には粉末、炭酸ガス消火器又は不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

適切な消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂等。

使ってはならない消火剤:情報なし

特有の危険有害性:燃焼又は高温により刺激性、腐食性又は毒性のガスが生成するおそれがある。

特有の消火方法:可能かつ安全ならば、火災域から容器を移動するか、散水などで冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、適切な自給式呼吸器(SCBA)及び化学用防護服を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項:流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:水系(河川や下水等)へ拡散しないように、速やかに堤を作って堰止め、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:設備の密閉化、局所排気装置や全体の換気設備を設けること。

安全取扱い注意事項:取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉じんを発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。局所排気および/または全体換気を行う。

接触回避:情報なし。

衛生対策:この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件:通常の保管方法で問題なし。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。

安全な容器包装材料:情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省)

製品:未設定

許容濃度(日本産業衛生学会 2024年度)

製品:未設定

トリシクラゾール 3 mg/m³

許容濃度(ACGIH)

スルホキサフロル 0.1 mg/m³ (Inhalable fraction and vapor) (TWA)

設備対策:取り扱いについては、局所排気内または全体換気装置のある場所で行う。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具

呼吸用保護具:適切な防じん性マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク等)

保護手袋:ゴム手袋

保護眼鏡:側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣:長袖作業着、帽子、保護服(不浸透性)、保護クリーム等

特別な注意事項:情報なし。

9. 物理・化学的性質

物理状態 : 水和性粘稠懸濁液体

色 : 淡黄赤色

臭い : データなし。

pH (原液) : 3.0~4.5

融点／凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし。
引火点	: データなし。
自然発火点	: データなし。
可燃性	: データなし。
爆発下限及び爆発限界上限／可燃範囲	: データなし。
相対ガス密度	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度及び／又は相対密度	: 比重 1.05～1.15 (20/4℃)
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし。
分解温度	: データなし。
動粘性率	: データなし。
粒子特性	: 粒度 $\leq 45 \mu\text{m}$ ($\geq 99.5\%$)
粘度	: 400-750 mPa・s (20℃)

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし。
化学的安定性	: 通常の保管条件下で安定
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ 300-2,000 mg/kg	「区分4」
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ >2,000 mg/kg	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:ガス)	: GHSの定義における液体である。	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし。	「分類できない」
急性毒性(吸入:粉じん／ミスト)	: 混合物のデータなし。データ不足。	「分類できない」
(参考) スルホキサフロル (ラット LC ₅₀ >2.09 mg/L) トリシクラゾール (ラット LC ₅₀ >2.58 mg/L)		
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 軽度の刺激性あるが、 GHS分類基準に満たない。	「区分に該当しない」
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 極軽度の刺激性あるが GHS分類基準に満たない。	「区分に該当しない」
呼吸器感作性	: データなし。	「分類できない」
皮膚感作性	: モルモット 陰性	「区分に該当しない」
生殖細胞変異原性	: 混合物のデータなし。データ不足。	「分類できない」
(参考) スルホキサフロル及びトリシクラゾールは遺伝 毒性試験において変異原性、遺伝毒性を示さない。		
発がん性	: 混合物のデータなし。データ不足。	「分類できない」
(参考) トリシクラゾールは発がん性試験において陰性。		
生殖毒性	: 混合物のデータなし。データ不足。	「分類できない」
(参考) トリシクラゾールは繁殖能に対する影響及び 催奇形性は認められない。		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 資材メーカー提供SDS及びGHS分類ガイダンスに従い分類。 区分1(中枢神経系、血液系)、区分3(麻酔作用)に分類される プロピレングリコールを混合物中に10%以上、20%未満含有する。 「区分1(中枢神経系、血液系)」	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 資材メーカー提供SDS及びGHS分類ガイダンスに従い分類。 区分1(中枢神経系、呼吸器)に分類されるプロピレングリコール	

を混合物中に10%以上、20%未満含有する。
「区分1(中枢神経系、呼吸器)」
誤えん有害性 : データなし。 「分類できない」

12. 環境影響情報

水生生物に対する影響

以下の知見から混合物として水生環境有害性 短期(急性)および長期(慢性)は「区分3」とした。

生態毒性

魚	コイ	: LC ₅₀ (96時間)	198 mg/l
甲殻類	オオミジンコ	: LC ₅₀ (48時間)	87 mg/l
藻類	緑藻類	: ErC ₅₀ (72時間)	142 mg/l

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし。 「分類できない」

その他 : 蚕、ミツバチに対して毒性があるので注意すること。

散布薬液の飛散により、野菜類の幼苗、なし等の農作物、自動車の塗装等に被害を与える恐れがある。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さず、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

残余廃棄物の廃棄処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

移送取り扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輻、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国際規制

国連番号(UN number)	: 非該当
国連輸送名(Proper shipping name)	: 非該当
国連分類(Class)	: 非該当
海洋汚染物質(Marine pollutant)	: 非該当

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

農薬取締法 : 該当

消防法 : 非該当

施行令第18条(表示対象物質) : トリシクラゾール(8.0%)(安衛則別表第2の2079)
プロピレングリコール(16.3%)(安衛則別表第2の1786)

【2026年4月1日以降】

スルホキサフロル(10.0%)(安衛則別表第2の2036)

施行令第18条の2(通知対象物質) : トリシクラゾール(8.0%)(安衛則別表第2の2079)

プロピレングリコール(16.30%)(安衛則別表第2の1786)

【2026年4月1日以降】

スルホキサフロル(10.0%)(安衛則別表第2の2036)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

引用文献	1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
	2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
	3) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
	4) 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会2024年度)
	5) 2025 TLVs [®] & BEIs [®] (ACGIH)
	6) 資材メーカー提供「安全データシート」
	7) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。